

産業建設常任委員会

日時 平成29年12月20日(水)午前10時から

場所 委員会室

議 題

1 付託案件(6件)

- (1) 議案第53号 平成29年度射水市水道事業会計補正予算(第1号)
- (2) 議案第54号 平成29年度射水市下水道事業会計補正予算(第2号)
- (3) 議案第57号 射水市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について
- (4) 議案第58号 射水市営住宅条例の一部改正について
- (5) 議案第64号 指定管理者の指定について(射水市川の駅新湊)
・・・・・・・・産業経済部 港湾・観光課 附属資料
- (6) 議案第65号 指定管理者の指定について(射水市大門コミュニティセンター及び射水市大門農村環境改善センター)
・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 附属資料

2 報告事項(9件)

- (1) 「射水市観光振興計画」(素案)の概要
・・・・・・・・産業経済部 港湾・観光課 資料1
- (2) 射水ベイエリア観光周遊バスの実証運行について
・・・・・・・・産業経済部 港湾・観光課 資料2
- (3) ふるさと射水応援寄附金について(中間報告)
・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 資料1
- (4) 大阪府泉佐野市との特産品相互取扱協定の締結について
・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 資料2
- (5) 新湊漁業協同組合第2製氷施設処分行為に係る補助金の返納について
・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 資料3

(6) 平成 2 9 年度道路除雪計画について

・・・・・・・・都市整備部 道路・河川管理課 資料 1

(7) 大門大島雨水幹線整備事業の工事請負契約について

(公共下水道 (雨水) 大門大島雨水幹線吐口築造工事)

・・・・・・・・上下水道部 下水道工務課 資料 1

(8) 娶川排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について

(公共下水道 (雨水) 娶川排水区雨水調整池整備 (その 1) 工事)

・・・・・・・・上下水道部 下水道工務課 資料 2

(9) 大門大島雨水幹線整備事業の工事請負契約について

(公共下水道 (雨水) 大門大島雨水枝線築造 (第 1 工区) 工事)

・・・・・・・・上下水道部 下水道工務課 資料 3

3 その他

射水市川の駅新湊の指定管理者候補者について

指定管理者候補者名：株式会社新湊観光船

事務所所在地：射水市海王町2番地

代表者名：代表取締役 土屋 和久

1 指定管理者候補者の概要

(団体の概要について記入)

株式会社新湊観光船は、観光に関する貸切船の予約受付・手配業務、遊漁船の経営、観光用みやげ物の販売及び食品の販売事業を営むことを目的として設立された。

平成24年度から平成29年度まで射水市川の駅新湊の指定管理者として、適切な施設管理等に努めている。

2 過去の実績

(過去に指定管理者となった施設について記入)

射水市川の駅新湊

平成24年4月1日から平成27年3月31日まで

平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

3 指定期間の設定期間理由

指定管理期間は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間とする。

平成28年度に曳山展示室の空調設備を改修し、空調調整に係る電気料金の増大が見込まれるため、指定管理期間の設定にあたっては、平成29年度の電気料金を把握し次年度以降の電気料金を算出する必要があることから、1年間の指定期間とした。

4 指定管理の内容

(業務仕様書に記載した業務内容を記載する。)

射水市川の駅新湊の施設及び設備の維持管理に関する業務

射水市川の駅新湊の施設来館者の受付及び使用許可に関する業務

射水市川の駅新湊の施設利用促進に関する業務

射水市川の駅新湊の自主事業に関する業務

その他別添仕様書に記載する業務

射水市大門コミュニティセンター及び射水市大門農村環境改善センター の指定管理者候補者について

指定管理者候補者名： 特定非営利活動法人ワーカーズコープ

事務所所在地： 東京都豊島区東池袋1-44-3池袋ISPタマビル

代表者名： 代表理事 田嶋 羊子

1 指定管理者候補者の概要

特定非営利活動法人ワーカーズコープは、働く人々、市民がみんな出資し、民主的に運営し、責任を分かち合って人と地域に役立つ仕事おこしを進めるための協同組合であり、平成13年に創設された。

全国に300箇所以上の事業所・出張所をもち、主な業務内容は、子育て事業、若者・生活困窮者自立支援、公共施設の管理・運營業務である。平成28年度の事業実績は112億円であった。

2 過去の実績

《市内》 足洗老人福祉センター（平成28年度から）

《県内》 平ふれあい温泉センター・平ふれあい健康センター（平成29年度から）等

《全国》 学童保育154箇所、児童館63箇所、高齢者関連施設44箇所等

3 指定期間の理由

施設の維持管理が主たる業務のため、これまで同様、指定期間を平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間の指定期間とした。

4 指定管理の内容

- 1 コミュニティセンター及び改善センターの施設及び設備の維持管理に関する業務
- 2 コミュニティセンター及び改善センターの利用の承認に関する業務
- 3 コミュニティセンター及び改善センターの利用料金の徴収に関する業務
- 4 その他コミュニティセンター及び改善センターの管理に関して必要と認める業務

第1章 計画策定の背景

【計画の目的】

新湊大橋の開通、北陸新幹線開業をはじめ、数々のドラマや映画のロケーションに活用される等、射水市の観光を取り巻く環境が大きく変化中、『射水市』としての認知度や魅力度を向上し、定住・交流人口の拡大や観光消費の増大等を図り、観光振興策を通じた地域の活性化を図る。

【計画期間】

平成30(2018)年度から平成34(2022)年度の5年間

第2章 観光の現状と動向

【射水市のイメージの現状】

- 本市の認知度・魅力度は低い。
- 富山県内の他市に比べて本市のイメージを想起できる人が少ない。
- 本市のイメージは「農林水産業が盛んなまち」。
- 本市が持つ地域資源のイメージ評価について、「自然が豊か」で、全国の市区町村平均と比べると「地元産の食材が豊富」の評価が高い。

【射水市の観光の現状】

- 射水市の観光客入込数は呉西圏域の中で最も多く、年々微増傾向にあり、季節別にみると夏が最も多く、冬は夏の半分以下である。
- 市内主要観光施設等入込数は、海王丸パークが最も多く、次いで、太閤山ランド、道の駅カモンパーク新湊となっている。
- 射水市の宿泊施設数及び客室数は呉西圏域の中で最も少なく、季節別にみると春や秋が多く、冬が最も少ない。
- 射水市の観光情報サイトへの訪問は年々増加しており、季節別にみると春から秋が多く、冬が最も少ない。
- 北陸新幹線が開業 ・新湊大橋が開通 ・コミュニティバス等が市内を網羅

【その他】

- 旧新湊庁舎の跡地利活用「観光拠点機能を備えた公共交通の結節点」
- 呉西圏域における広域連携「環日本海の中核拠点」
- インバウンドの増大と2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催

参考) アンケート調査の結果

【射水市に訪訪している観光客の現状】

- 調査地点(3地点)に訪れる観光客は市外(特に県外)からが多い。
- 同行者は子連れ家族が最も多く、夫婦・カップルや大人の家族も多い。
- 本市を訪れる目的は「おいしいものを食べる」が最も多くなっている。
- 利用交通機関の8割以上が「車」。
- 6時間以上滞在する人は1割程度。
- 「また来たい」と答えた観光客は約9割強。

【射水市の観光に関連している事業者の現状】

- 本市に今後来てほしい同行者は「子ども連れの家族」「若手女性グループ」。
- 今後の観光振興への取り組みは、PC・モバイル、SNS等のインターネット。
- 今後の外国人観光客への対応は「特にない」が6割。
- 事業者の半数以上が活用すべきと答えている地域資源は、「海王丸パーク」「内川と橋」「新湊大橋」「白えび」「ベニズワイガニ」「寿司」「曳山まつり」であり、新湊地区に集中している。
- 市や観光関連機関、民間、市民が取り組むべき課題は、「新幹線駅と観光地を結ぶ公共交通網の充実」が最も多く、「宿泊施設の充実」、「射水ブランドの向上」、「タクシーやレンタカーの利便性向上」、「隣接の観光地を含む広域観光ルートの開発」も多い。

【旅行会社からみた射水市の現状】

- 本市が富山県の中で「食」で選ばれる可能性は、「なり得るかもしれない」までを含めると8割。
- 観光客に喜ばれそうな本市の食材は、「白えび」が最も高く、次いで「ベニズワイガニ」「ホタルイカ」であり、食で選ばれるために必要な取り組みは、「ランチメニューの充実」や「首都圏へのPR」など。

【観光に対する課題】

- (1) 射水市のアイデンティティの確立と積極的・戦略的なプロモーション
- (2) 集客力を持つ地域資源が集中している“射水ベイエリア”の活用
- (3) 射水市全体でのおもてなしと射水市ファンの獲得
- (4) 冬の魅力強化による通年観光化
- (5) 滞在時間の延長と観光消費を増やす商品づくり
- (6) 広域連携による観光振興
- (7) 魅力を楽しむための整備
- (8) 地域資源の保全と継承

第3章 射水市の観光振興計画の戦略と施策の展開

【基本方針】

食・水・祭の観光資源をブラッシュアップし、本市の認知度と魅力度を高めるため、集客力のある射水ベイエリアのキラコンテンツ化を図り、本市の観光の核となる地域とし、各地区の観光資源を磨き上げながら、本市全体への波及効果を狙い、通年観光や滞在の長時間化による消費額の増大を図る。

また、首都圏をはじめとする県外や海外からの誘客促進については、受入体制を整備しながら、県及び西部6市等の広域連携によって効果的な施策を展開する。この方向性に向かって、市民や事業者、各種団体が観光振興の意義を理解し、官民一体となって観光振興に取り組む。

このことにより、地域には個性と活力が満ち、訪れる人々には満足度が高まり、いきいきと輝く「射水市」の創造につなげる。

【基本目標】

懐かしさと新しさの中に 食・景観・文化の魅力を満喫できるまちを目指して

【基本戦略】

戦略の柱

『射水市』の認知度の向上 (ブランド力の向上)

- 施策1 『射水市』としてのブランドイメージの確立
 - 市のイメージの統一と地域ブランドの連携
 - 市のイメージのブラッシュアップ
- 施策2 情報発信の強化
 - ターゲットに応じた戦略的な情報発信
 - 効果的なプロモーション活動

『射水市』の魅力度の向上 (射水市が持つ地域資源の結びつきの 強化とブラッシュアップ)

- 施策1 『射水ベイエリア』のキラコンテンツ化
 - 射水ベイエリアの地域資源の付加価値向上
 - 射水ベイエリアから市内への回遊性向上
- 施策2 人の結びつきと意識の醸成
 - 観光産業従事者の育成と連携強化
 - 市民の意識醸成
- 施策3 観光資源の活用
 - 射水ブランドの育成とマーケティング強化
 - 観光の通年化
 - 多様なニーズに応える旅行商品の展開
- 施策4 広域観光
 - 広域連携事業の推進

『射水市』としての受入体制の整備 (射水市の観光を持続的に発展する ための基盤整備)

- 施策1 観光客の受け入れ基盤の整備
 - 観光客の回遊性の向上
 - 外国人観光客のための環境整備
- 施策2 観光地の価値の保全と向上
 - 自然や景観等の保全

【数値目標】

(H29 H34)

知る	ホームページアクセス数:	
		322,387回 340,000回
↓	観光客入込数(年間):	
訪れる		4,182千人 4,400千人
	観光客入込数(1~3月):	
↓		656千人 690千人
滞在する	土産品購入者数(年間):	
		1,373千人 1,440千人
↓	土産品購入者数(1~3月):	
消費する		302千人 320千人

第4章 射水市の観光振興計画を推進するために

本計画を推進するためには、行政、観光協会、地域のNPOやボランティア団体、まちづくり団体、市内事業者、市民等の様々な関係者が、各々の役割を理解し、より一層一体的に進め、射水市全体の力の集結を図りながら実施していくことが重要である。

また、本市の観光振興を「つながる力」で推進する。なお、計画の進行管理にあたっては、「PDCAサイクル」により、定期的に計画実施状況の点検・評価を行い、必要に応じて事業や目標等の見直しに努め、効果的な実施を促進する。

射水ベイエリア観光周遊バスの実証運行について

1 目的

昨年に引き続き、射水市を訪れる観光客の利便性を向上するため、あいの風とやま鉄道小杉駅と射水ベイエリアを結ぶ観光周遊バスの実証運行を行う。昨年度の運行内容を一部修正、改善して実証運行を実施した。

2 概要

(1) 運行日

平成29年7月15日(土)から11月12日(日)までの土日祝日(計41日)

(2) 運行路線

1 路線(往復)

小杉駅北口 カモンパーク新湊(道の駅) 川の駅新湊 新湊きつときと市場
海王丸パーク 新湊大橋西棧橋口 新湊マリーナ 新湊大橋東棧橋口

昨年度の路線に新湊大橋東西棧橋口(プロムナード)を追加



(3) 運行時刻

ア 小杉駅北口発 新湊大橋東棧橋口行き

10:05から60分間隔で1日6便(最終便15:05)

イ 新湊大橋東棧橋口発 小杉駅北口行き

11:00から60分間隔で1日6便(最終便16:00)

あいの風とやま鉄道、ぶりにかにバス、万葉線との連結を考慮

(4) 運賃

1日乗車券300円、1回乗車100円

- ・ 同伴未就学児及び障がい者の介護者は無料、小学生、障がい者は半額
- ・ コミュニティバス1日乗車券は、利用不可

昨年度と同運賃

(5) その他

ア 略 称：射水ベイバス

イ PR方法：(ア) ポスター、ちらし配布（あいの風とやま各駅、県内及び金沢市
宿泊施設等）

(イ) 各種ホームページ、広報、タウン情報誌広告掲載

(ウ) その他（メディアキャラバン（ニュース、ラジオ等）、無料
乗車デー、1日乗車券特典、イベントツアー、宿泊施設無料乗
車券配布及びアンケートプレゼント）

3 乗車実績

新湊大橋東棧橋口行き	7月(7日間)		8月(9日間)		9月(10日間)		10月(10日間)		11月(5日間)		計41日	
バス停名	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降
小杉駅北口	47		23		33		51		8		162	
カモンパーク新湊	5	4	8	6	1	3	4	3	4	1	22	17
川の駅新湊	2	8	0	8	0	9	3	26	1	9	6	60
新湊きつときと市場	17	17	7	1	2	3	8	14	1	1	35	36
海王丸パーク	2	19	0	9	0	6	0	20	3	2	5	56
新湊大橋西棧橋口	0	0	0	9	0	6	0	2	0	0	0	17
新湊マリーナ	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
新湊大橋東棧橋口		21		4		9		1		4		39
計	73	73	38	38	36	36	66	66	17	17	230	230
一日当たりの利用者数	10.4		4.2		3.6		6.6		3.4		5.6	

小杉駅北口行き	7月(7日間)		8月(9日間)		9月(10日間)		10月(10日間)		11月(5日間)		計41日	
バス停名	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降
新湊大橋東棧橋口	24		15		17		12		4		72	
新湊マリーナ	3	0	0	0	5	4	0	0	0	0	8	4
新湊大橋西棧橋口	5	0	1	2	7	0	1	0	2	0	16	2
海王丸パーク	21	4	10	3	16	7	16	2	0	0	63	16
新湊きつときと市場	15	9	14	12	25	11	20	3	5	0	79	35
川の駅新湊	7	8	2	0	9	3	17	2	2	0	37	13
カモンパーク新湊	2	4	6	9	9	2	8	4	2	3	27	22
小杉駅北口		52		22		61		63		12		210
計	77	77	48	48	88	88	74	74	15	15	302	302
一日当たりの利用者数	11.0		5.3		8.8		7.4		3.0		7.4	

4 実証運行の検証

	今年度	昨年度
運行日数	41日間	26日間
総利用客数	532人	376人
一日当たりの利用者数	13.0人	14.5人
運行委託料	3,054,770円	2,119,673円
運賃収入	44,350円	41,850円

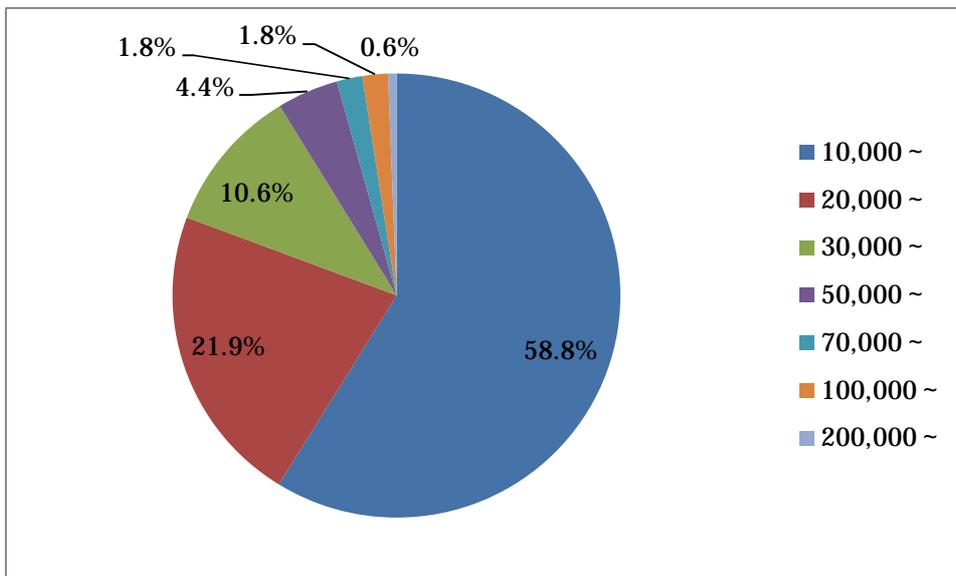
- ・週末に3度台風に見舞われるなど、悪天候の影響もあり、乗客数はなかなか伸びず、一日当たりの利用者数は昨年から微減となった。
- ・往路（新湊大橋東棧橋口行き）より復路（小杉駅北口行き）の方が利用者数が多く（+72人）、ぶりにかにバスなど別の公共交通を利用して射水ベイエリアを訪れ、帰りに射水ベイバスを利用する人が多かったと思われる。
- ・小杉駅北口、新湊きつときと市場、海王丸パークの乗降客数が多く、新湊マリーナでの乗降客数が少なかった。これは昨年と同様の傾向であった。
- ・アンケートの結果、約半数の利用者が実証運行を事前に知らずに利用しており、周知の強化が課題である。
- ・運行期間が短いため、周知が難しく、利用が見込まれる春の行楽シーズンが運行期間外となっている。今年度、新たに1日乗車券特典を付けるなど利用促進のPRを強化したが、利用者数が伸びなかった。
- ・今後の運行方針の見直し等が必要である。

ふるさと射水応援寄附金について（中間報告）

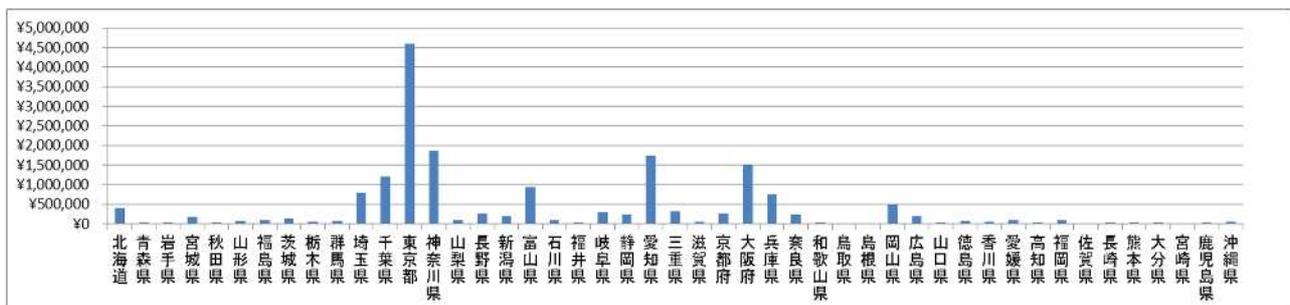
1 月別寄附額及び件数

年度月別寄付額及び件数						
月	H27		H28		H29	
	寄附額	寄附件数	寄附額	寄附件数	寄附額	寄附件数
4	450,000	34	280,000	16	1,369,880	107
5	610,000	58	850,000	52	1,612,017	82
6	690,000	59	3,430,000	166	2,854,715	178
7	3,610,000	259	3,545,000	199	2,520,783	169
8	6,015,500	380	3,010,000	175	1,828,642	125
9	8,390,000	558	5,652,000	297	3,686,514	154
10	9,640,000	599	6,530,000	336	4,265,449	228
11	10,803,000	594	18,076,000	727		
12	15,781,000	919	38,564,000	1,927		
1	17,000,000	763	95,491,346	4,905		
2	2,170,000	91	4,117,095	284		
3	1,665,000	105	3,705,559	273		
合計	76,824,500	4,419	183,251,000	9,357	18,138,000	1,043

2 寄附金額の割合



3 都道府県別寄附金額



2、3はふるさとチョイスのみのデータ

4 寄附額の減少

返礼品の見直しを行なった8月以降、寄附額が前年と比べて約36%減少しているが、全国的にも約4割の寄附額が減少しており、全国と同様な傾向を示している。

5 主な広報活動

掲載期間	掲載メディア
9/20	NHK出版「きょうの料理10月号」内広告(全国書店等約46.2万部)
9/30	読売新聞朝刊「ふるさと納税通信」内広告(東京都23区内65万部)
9/30	産経新聞朝刊「地方創生特集ふるさと納税」内広告(東京都23区内23万部)
10/20~23	「越中富山うまいもんフェア(イオンナゴヤドーム前店)」にて PR及び来店者にパンフレット1千部配布
11/1~30	東京メトロ南北線26本 6両編成全車両窓上広告
11/29	TBSラジオ「たまむすび」生出演広報及び20秒CM10本
11/30	キャラバン隊長 水越ユカさんによるふるさと納税PRキャンペーン 「夕刊フジ」、「日刊ゲンダイ」読者プレゼント(ベニズワイガニ)
11/20~12/10	WEB「マイナビ農業」カニ特集記事参加

大阪府泉佐野市との特産品相互取扱協定の締結について

1 経緯

- (1) 日時・場所 平成29年8月1日(火)・射水市本庁舎
来庁者 泉佐野市長 千代松 大耕 外4名
内 容 「6次産業化及び特産品の活性化の取組み」について意見交換
- (2) 日 時 平成29年9月25日(月)
内 容 泉佐野市から「特産品相互取扱協定」の締結について打診
- (3) 日時・場所 平成29年10月24日(火)・泉佐野市りんくう庁舎 外
内 容 ・泉佐野市のアンテナショップ「まち処」3カ所を視察
・平成30年度に市制施行70周年を迎えることから47都道府県から各1自治体以上と「特産品相互取扱協定」を締結することを目標としており、本市とは平成29年度中に締結したい旨説明があった

2 目的及び時期

- (1) 目的
相互の特産品を取り扱うことの位置付けを明確化し、特産品フェアなどのイベント等でのPR活動や情報発信を行い、都道府県の垣根を越え、両市の地場特産品の宣伝と販路拡大による経済と産業の発展を図ることを目的とする。
- (2) 時期 平成30年2月

3 取組み内容

- (1) 農業まつり等のイベントへの特産品の相互の出展
(2) アンテナショップ等での特産品の取扱販売 等

4 協定締結のメリット

- (1) 泉佐野市内のアンテナショップ「まち処」(3カ所)での射水の特産品販売
・ 泉佐野「まち処」泉佐野駅前に設置
・ 関空「まち処」関西国際空港の国際線到着口前に設置
・ りんくう「まち処」泉佐野市役所りんくう庁舎(りんくうタウン駅)に設置
- (2) インバウンド旅行者が年間約100万人宿泊していることから海外への特産品のPR及び販路拡大を図る窓口として好条件な場所である。
- (3) 泉佐野市は47都道府県の自治体と協定の締結を目指していることから全国の交流市と情報交換等を図ることができる。
- (4) 特産品相互取扱協定締結自治体数 38自治体(H29.10.30現在)

【参考】

泉佐野市の概要

人 口	100,796人(H29.10.31現在)
面 積	56.51平方キロメートル
特 徴	平成30年 市制施行70周年 関西国際空港の玄関口 繊維産業 泉州タオル 国内タオル生産量の47%を占める 農 業 玉ねぎ、水なす等の産地

【泉佐野・関空・りんくうの「まち処」】



泉佐野「まち処」



泉佐野「まち処」



関空「まち処」



りんくう「まち処」



りんくう連絡通路



りんくう連絡通路

協定自治体の観光ポスター掲示

新湊漁業協同組合第2製氷施設処分行為に係る補助金の返納について

1 返納理由

第2製氷施設は、平成16年度に国の事業を活用して整備されたものであり、平成6年度に整備した第1製氷施設と共に有効に利用されてきたが、社会情勢の変化等により鮮度保持へのニーズの高まりに応える必要がでてきた。

また、現施設で使用しているフロンガスが平成32年には全廃されることから新たな施設整備が必要となり、2施設を1施設に統合し経費の節減と高鮮度化に対応できる施設を整備することとし、法定耐用年数経過前に解体する施設の残存簿価分を返納することとなった。

2 処分行為による補助金返納額の算定

平成30年2月15日を基準とした場合（経過年数13年3か月）

区分	残存簿価(税込)	国補助金	県補助金	市補助金	合計
建物(旧定額法)	21,577,871	10,275,176	2,055,035	2,055,035	14,385,246
電機設備(旧定率法)	4,203,071	2,001,462	400,292	400,292	2,802,046
製氷設備(旧定率法)					0
合計	25,780,942	12,276,638	2,455,327	2,455,327	17,187,292
割合(総事業費(税抜))		5/10	1/10	1/10	

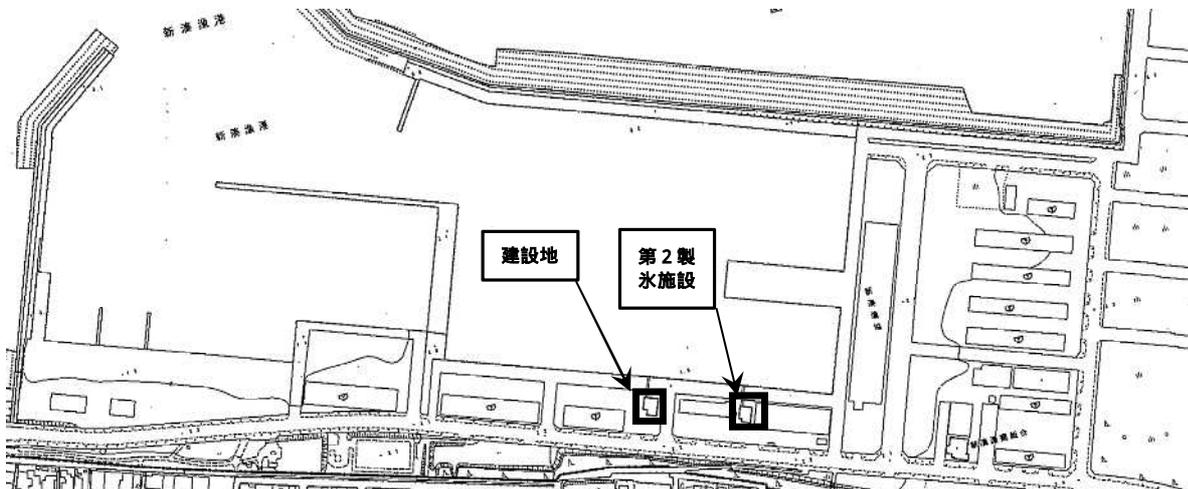
返納金の算定基準は時価評価額と残存簿価の高い方となるため、残存簿価が基準額となる見込み
 製氷設備分は償却済み

歳入(雑入)	歳出(償還金)
国+県+市	国+県
17,187,292	14,731,965

3 補助金返金の流れ

新湊漁協(17,187,292円) 射水市(14,731,965円) 富山県(12,276,638円) 国

位置図



平成29年度道路除雪計画について

道路除雪実施計画

1 重点項目

- (1) 初動除雪の徹底及びていねいな除雪の実施
- (2) 小型除排雪機械の無償貸与を行い、地域ぐるみ除排雪活動の支援
- (3) 通学路、主要施設周辺歩道の早朝除雪の実施
- (4) 急坂、橋梁及びカーブ等への凍結防止剤散布の実施

2 除雪車出動基準

新降雪が10cmを超え、気象情報などから更に降雪が予想されるとき。

3 除雪計画路線

(単位: km)

項目	H28年度	H29年度	対前年度
市道総延長	847.9	849.4	+1.5
機械除雪延長	522.5	524.0	+1.5
消雪延長	169.3	174.4	+5.1
除雪延長合計	691.8	698.4	+6.6
歩道除雪	90.7	90.9	+0.2

4 協力業者数及び除雪機械台数

	H28年度	H29年度	対前年度
業者数	119社	120社	+1社
台数	290台	299台	+9台

5 市民への協力依頼

- (1) 除雪車の支障となる路上駐車をしない。
- (2) 交通障害となるため、道路への投雪をしない。
- (3) 除雪車や庭木の損傷をさけるため、道路にはみ出ている庭木の剪定を行う。
- (4) 自宅周辺は各家庭で除雪を行う。
- (5) 作業中の除雪車に近寄らない。

6 問い合わせ先

道路除雪対策本部

設置期間 平成29年12月1日～平成30年3月31日

設置場所 射水市 道路・河川管理課内 (大島分庁舎2階)

電話番号 51 - 6689

大門大島雨水幹線整備事業の工事請負契約について

1 事業目的

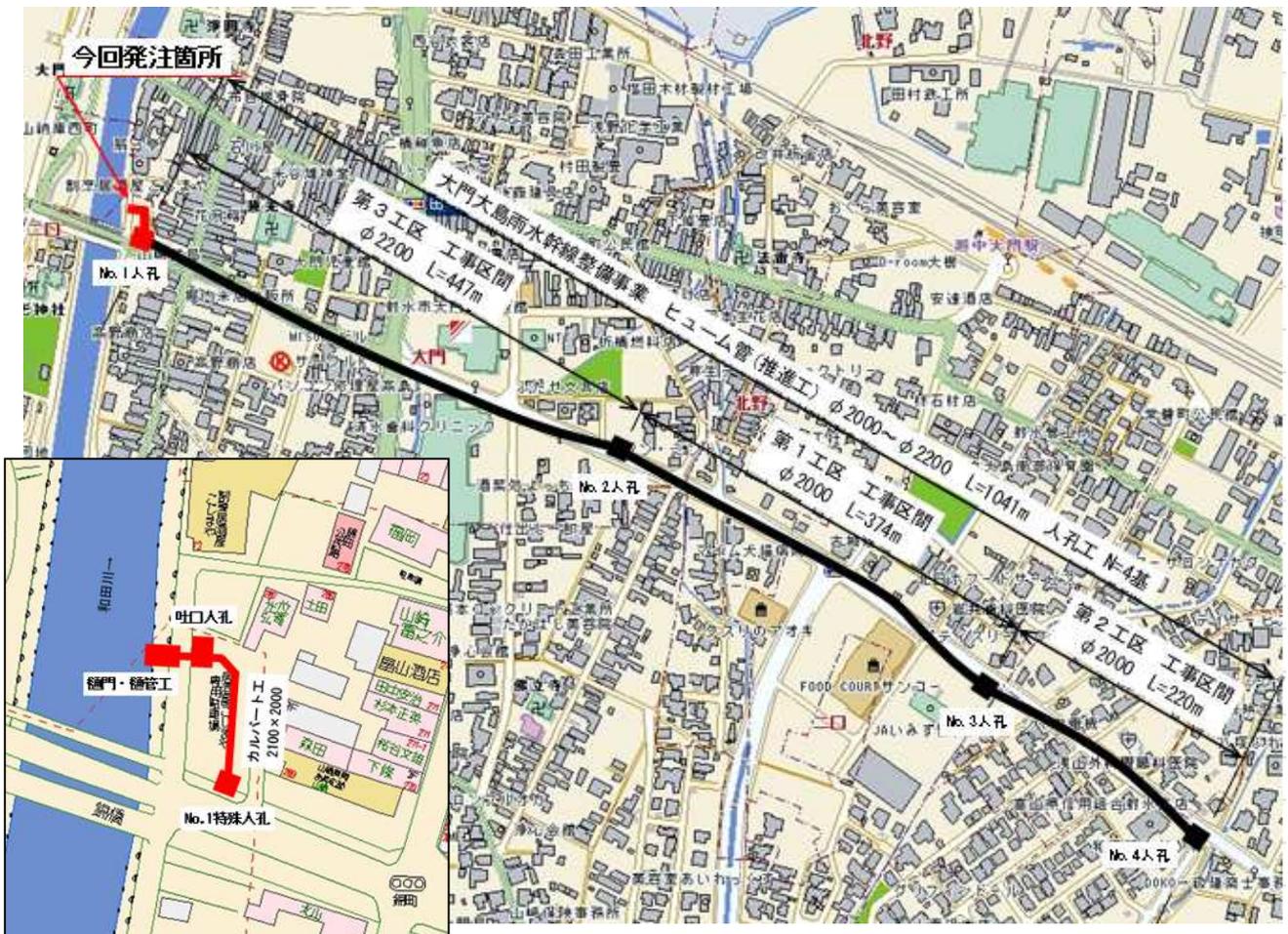
本排水区（二口地区）は、近年の住宅開発や排水路の能力を超えた集中豪雨により浸水被害が頻発しており、その解消を目的として都市計画道路東老田高岡線に沿って雨水幹線を整備し、本排水区から和田川へ排水するものである。

2 工事請負契約の内訳

工事名 「公共下水道（雨水）大門大島雨水幹線吐口築造工事」

契約金額	工事受注者	工期	工事概要
150,336,000 円 (うち消費税等 11,136,000 円)	射水市二口 2487-1 射水工業・高田建設公共下水道（雨水）大門大島雨水幹線吐口築造工事共同企業体	平成 29 年 8 月 29 日 ～ 平成 30 年 3 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門・樋管工 N=1 基 ・加圧ト工 L=23m ・No.1 人孔 N=1 基 ・吐口人孔 N=1 基

3 位置図



嬰川排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について

1 事業目的

本排水区（鷺塚地区）は、宅地化の進展や近年の集中豪雨により、既設排水路の流下能力が不足していることから、たびたび浸水被害が発生している。このことから、本地区の雨水対策として、既設排水路への雨水流出量の抑制と水位を低下させるため、本地区を迂回するバイパス水路（ボックスカルバート）と雨水調整池を整備し、浸水被害の解消を図るものである。

2 工事請負契約の内訳

工事名 「公共下水道（雨水）嬰川排水区雨水調整池整備(その1)工事」

契約金額	工事受注者	工期	工事概要
578,880,000 円 (うち消費税等 42,880,000 円)	射水市寺塚原 836 番地 3 竹沢建設・道路技術サービ ス・四方組公共下水道(雨水) 嬰川排水区雨水調整池整備 (その1)工事共同企業体	平成 29 年 10 月 26 日 ~ 平成 30 年 3 月 30 日	・地盤改良工 (深層混合処理工) 2500 N=416 本 ・土留工 (地中連続壁工) 650 L=260m

3 位置図



大門大島雨水幹線整備事業の工事請負契約について

1 事業目的

本排水区（二口地区）は、近年の住宅開発や排水路の能力を超えた集中豪雨により浸水被害が頻発しており、その解消を目的として都市計画道路東老田高岡線に沿って雨水幹線を整備し、本排水区から和田川へ排水するものである。

なお、本工事は雨水幹線に接続する枝線を整備するものである。

2 工事請負契約の内訳

工事名 「公共下水道（雨水）大門大島雨水枝線築造（第1工区）工事」

契約金額	工事受注者	工期	工事概要
150,984,000 円 （うち消費税等 11,184,000 円）	射水市上条 357-1 川原工業・射水工業公共下水道（雨水）大門大島雨水枝線築造（第1工区）工事共同企業体	平成 29 年 12 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューム管 $\phi 1100$ L=96m ・推進工 L=89m ・立坑工 N=3 箇所 ・特殊マンホール工 N=3 基 ・加圧ポンプ工 L=8m

3 位置図

